

多自然川づくりの視点からの 植生管理の考え方

Keywords : 多自然川づくり, 樹林化, 植生遷移

●維持管理での多自然川づくりの現状

多自然川づくりが維持管理できていない。

問題

「多自然川づくりの視点からの
方法が明確ではない」

河川
ごと

蓄積された地形・植生データより
河川の性質を視覚化

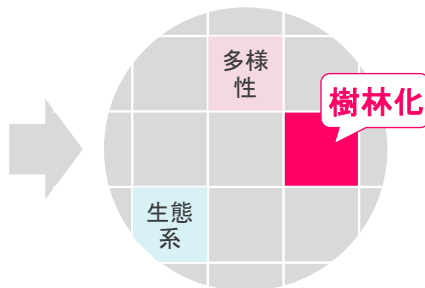


「定期縦横断測量」
現在の河川形状の把握



「河川水辺の国勢調査」
環境・生物等の基礎情報の収集

維持管理



維持管理の内容は多種多様

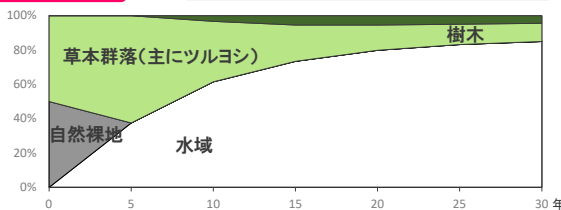
環境劣化・流下能力阻害につながる樹林化に着目

●河川の性質の視覚化

庄内川上流部(セグメント1)

地形条件
冠水の影響を受ける箇所

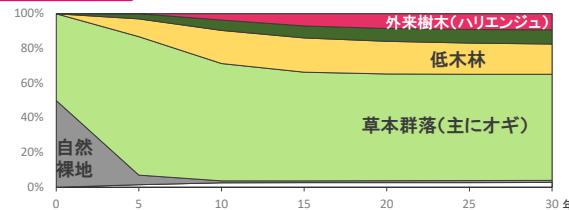
平水位
+0.5m未満



庄内川上流部(セグメント1)

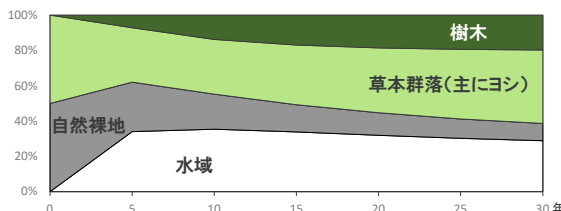
地形条件
冠水の影響を受けない箇所

平水位
+0.5m以上



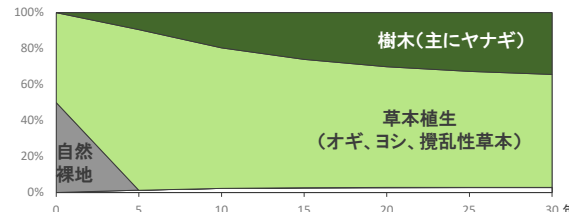
揖斐川下流部(セグメント2-2)

平水位
+1m未満



揖斐川下流部(セグメント2-2)

平水位
+1m以上



維持管理上の課題である「土砂の再堆積・樹木の再繁茂」にターゲットを絞り、樹林になってから伐採する「事後保全」から、樹林化の傾向を早期に検知し対応する「予防保全」にシフトすることで、多自然川づくりの視点から効率的な植生管理を行うことを提案した。河川・位置により伐採頻度や対応等が変化するか分析結果を報告する。